

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号） 胸腔子宮内膜症性気胸における気胸発症機序の後方視的観察研究
(No.)

当院の実施責任者 坪島顕司（気胸研究センター）
(所属)

他の研究機関および
各施設の研究責任者（所属） なし

本研究の目的 胸腔子宮内膜症性気胸（TEP）は30-40歳代の女性に発症し、ほとんどの症例で横隔膜に小さな穴や、血豆のような変化が確認できます。このような変化は健常者には見られないため、気胸の発生に関与していると古くから考えられてきました。生理の頃に膈からお腹のなかに空気が入り、更に横隔膜の穴から胸の中に空気が流入するという仮説があります。一方でこの仮説を支持する胸腔内に空気が流入する瞬間をとらえた報告がほとんどないこと、手術で横隔膜病変を切除しても少なからず再発することから、この仮説で全てを説明することは難しいのが実情です。他にもいくつかの仮説が考えられてきましたが、いずれも決定的なものではありません。今回、2015年1月から2021年2月までにTEPに対し当院で手術を受け、手術中に空気漏れの原因が確認した方を対象とし空気漏れの位置（横隔膜か肺か）等を調査いたします。

本研究を学会、論文発表することで、TEPの発生機序を解明することに役立つことが期待できます。

調査期間 倫理委員会承認後から2023年3月31日まで

研究の方法 ●対象となる患者さま
(使用する試料等) 当院で2015年1月から2021年2月までにTEPに対し手術を受け、手術中に空気漏れの有無を確認した方

●利用する情報
カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します

試料/情報の他の研究機関への
提供および提供方法 共同研究施設以外への試料・情報の提供はありません

個人情報の取り扱い 利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。

本研究の資金源 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
(利益相反)

お問い合わせ先 電話：03-3700-1151（代表）

担当者：坪島顕司

備考